



2 記録を読み取る

保育カンファレンスで～枝豆でリベンジ～ 5歳児

二本松市立小浜幼稚園

アサガオの種まきにつき、枝豆の種を1人ずつ牛乳パックで作った容器に蒔いた。アサガオの時に容器の底に蒔いて芽がなかなか出てこなかったり、土をギュウギュウに押しつけてしまったり、水をあげ過ぎたりした経験を生かし、浅めに種を蒔いたり、土をふんわりとかけるなど工夫する姿が見られるようになった。種を蒔いてから毎日「もう、芽出たかな?」「今度は、ちゃんと芽がでるかな…」とドキドキしながら楽しみにしていた。3日で次々と芽を出し始めた。しかし、5日経ってもまだ芽を出さないものもあった。保育者は保育後、日々保育カンファレンスを行い、子どもたちの姿を話し合っている。何気ない会話に、子どもの姿を読み取るヒントがあり、お互いの記録を共有することにも繋がっている。時間を設けて行う園内研究とは別に、日々の積み重ねとなるカンファレンスを大事にしている。

幼児の姿	環境構成と保育者のかかわり () 思い 分析
<p>枝豆の芽が出ないことを心配し始める。 W児：「何で出ないの?」 A児：「お布団の中(土の中) どうなってるのかな?」</p> <p>W児：「下の方に豆が入ってた」 T児：「豆は、柔らかいよ!」 Y児：「でも袋をかぶってるよ、だから芽が出られないんじゃない?」 S・A児：「今度はちゃんと芽が出ますように…」と、言いながら、指で浅く穴を掘り、種を戻すとそっと土をかける。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 10px;"> <p>ちゃんと出ますように</p> </div>  </div> <p>T・Y児「芽が出た枝豆のお布団の中も見てみたい」 興味津々な様子で見ている。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 10px;"> <p>もやしが生えてる!!</p> </div>  <div style="margin-left: 10px;"> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">えっ? もやし蒔いてない…</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">じゃあ、これって豆のひげ?!</p> </div> </div>	<p>芽が出ていないことに気が付いて心配しているW児の姿を学級全体に知らせる。 「じゃあ、中身を出して確かめてみようか?」 テラスに新聞紙を広げ、全く芽が出ていないパックの中身をそっと出してみる。 (アサガオの時と同じだね) 「本当だね。柔らかい! 蒔く前は固かったのにね。この袋が邪魔しているのかな?」 「どんなふうの種を戻せばいいかな?」 (芽が出やすい種の蒔き方に気付いて欲しい)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>アサガオに続いて2度目の失敗はしたくないだね</p> </div> <p>「先生も興味ある! 見てみようか?」と言い、今度は、少し芽の出た枝豆をパックから出してみる。</p>

保育後のカンファレンスで

子どもたちが興味を持って見たがっていたので、パックの中の枝豆を出して様子を見てみました。

すごく興味もってたもんね。

C保育者

子どもたちにとっていい経験だったんじゃない?

D保育者



A保育者

根っこの様子を見るのもおもしろそうだね。枝豆の根っこってどうなっているの?

B保育者

このような日々の短時間のカンファレンスを積み重ねることは、記録を多くの目で見て共通理解することになり、子どもの姿の読み取りが深まります。保育者の援助や環境の構成など、「科学する心」を育てるための保育の工夫を図ることにも繋げることができます。